

中国湖北省・湖南省 タンジェリンの生産量は少ないが輸出需要は安定

[FreshPlaza 2024年10月10日](#)

中国湖北省と湖南省のタンジェリンは今、例年に比べて約1カ月遅れて始まった輸出シーズンの初期段階にある。

遼寧中上国際貿易有限公司の責任者である朱雲全氏は、「当地のタンジェリンはその特性と成熟度のおかげで保存性が良く、長距離輸送に耐えることができる。湖北、湖南両省では成熟が通常他の地域よりも早く、弊社の柑橘類の輸出はここから始まり、徐々に他の産地に移動することが多い」と話す。(以下「」は同氏の話)

「今年、湖北省と湖南省はタンジェリンの裏年であり、悪い天候条件のため生産量は近年に比べて30～40%少ない。現在の仕入れ価格は4～4.4元/kg(1元=約21円)と高く、前年同期比で15～20%高くなっている。その結果、輸出価格も上昇している。収穫の最盛期は来月から始まると予想されている。」

天候の影響で、今シーズンは小玉の割合が多い。輸出市場では、東南アジアと中央アジアでは小玉を好む傾向があり、一方ロシア市場では大玉を好む傾向がある。輸出需要は現在安定しているが、過去1～2年でロシアからの需要が大幅に増加した。

輸出市場の消費動向について、朱氏は海外需要の改善を指摘する。「弊社の柑橘類は、輸出先国のスーパーマーケットや卸売市場に直接供給されている。私の観察によると、高品質な果実に対する需要は強い。昨年から、高品質な果実を販売しやすくする小型のプレミアムパッケージへの顕著なシフトが見られる。」

同社は、東南アジア、中央アジア、ロシア及びカナダの市場に輸出している。同社の製品には、カンボジア産マンゴー、中国産柑橘類(ブンタンを含む)、ベトナム産ドラゴンフルーツ等がある。「過去2カ月間、弊社では湖南省と湖北省からタンジェリンを輸出してきた。12月までに、広西チワン族自治区の沃柑オレンジやハニータンジェリン(蜜橙)、それに江西省南豊県産のタンジェリンの輸出に移行する。」

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

南アフリカ 柑橘類生産者は輸出に課題がある中で果汁市場に軸足

[FreshPlaza 2024年10月11日](#)

南アフリカの柑橘類生産者は、輸出のボトルネックや悪天候による出荷量の減少等により、厳しい輸出シーズンを迎えている。これを受けて、多くの生産者が国内の果汁市場に軸足を移し、果汁価格高騰の恩恵を受けている。南部アフリカ柑橘類生産者協会のジャスティン・チャドウィックCEOは、同国の3つの主要な輸出経路のそれぞれが独自の困難に直面しており、柑橘類の輸出効率に影響を与えていると強調した。マプト港とダーバン港を利用する北部地域回廊では港湾設備の問題が発生し、東ケープ回廊では強風による港の混乱に直面した。これらの課題にもかかわらず、柑橘類に特化したリーファー輸送は安定しており、また港湾でのリーファー用電源プラグの容量の増加は前向きな動きであると同氏は指摘した。

熱波や洪水などの悪天候や7月の降霜が果実の品質とサイズに影響を与え、輸出量の減少につながった。一方、果汁市場の高い需要と有利な価格は、生産者にとって実施可能な代替手段を提供した。国内の果汁用果実の価格は最大6ランド(約50円)/kgに達した。この果汁用へのシフトは、ほとんどリスクがなく、良好な収益を提供したため、多くの生産者にとって魅力的な選択肢となった。世界と国内のオレンジ果汁市場の価格は、ブラジルのエルニーニョ現象とカンキツグリーンング病によって押し上げられ、継続的な高値を維持し、農場の収益を支えた。しかし、シーズン後半の「黒い霜」(乾燥した低温)は、北部地域を始めとして収量にさらなる影響を及ぼし、柑橘類の総出荷量は約30%減少したと報告されている。

出典: [foodformzansi](#)